第4回 5月15日の講義内容

- § 3-1. 社会調査の設計
 - ■調査テーマの設定
 - ■問題意識の明確化
 - 作業仮説の定式化(検証タイプ)
 - 現象の定式化(発見タイプ)
 - ■調査対象の確定
 - 調査方法の決定

5/14/03

調査テーマの設定

- ■調査テーマの設定
 - ■まず、問題意識ありき。
 - 何が問題なのか、何を知りたいのか、を明確に する。
- ➡調査結果の認識、解釈が目的。
 - (注)調査すること自体が目的ではない。
- ■調査票調査が妥当なケース
 - ■集団の(平均的な)性質が主たる関心の場合

5/14/03

問題意識の明確化

- ➡問題を作業仮説(仮のモデル)に移し替えるプロセス。
 - 同様の問題を扱った先行研究のレビュー
 - (**検証タイプの調査**)問題を把握する枠組(理 論モデル)・世界観の選択
 - (**発見タイプの調査**)問題と関連する諸現象の 整理·分類
 - ■問題の整理 図式化

5/14/0

作業仮説の定式化(検証タイプ)

- ⇒理論モデルと操作モデルの擦りあわせ。(翻訳作業)
- ■操作モデルを検証可能な形に整理·書替 え。(モデルの具体化)
- ⇒操作モデル相互間の関係を整理
- ⇒操作モデル 質問文 対応づけ

5/14/03

現象の定式化(発見タイプ)

- #質問文 操作モデル 対応づけ
- ■操作モデル相互間の関係を整理
- ⇒操作モデルから帰納的に一般化される言明(モデル)を提示。
- 単一般化モデルから推測される理論モデル を提示。

5/14/03

調査対象の確定

- ■属性、特性を画定
 - ■年齢、性別、職業、学歴、地域、等々
- ⇒比較対象群(controlled group)の設定
 - ■作業仮説の検証のため
- #調査対象の全体/部分
 - 悉皆調査(全数調査)
 - 標本調査 サンプリング

5/14/03

調査方法の決定

♯調査票調査

- 集団の平均的特性の調査に優れる
- ■画一的

■質的調査

- インタビュー
- 参与観察
- etc.

5/14/03